



平成 24 年 8 月 2 日

各 位

会社名 ケイティケイ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 主計  
(JASDAQ・コード3035)  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役管理部長  
木村 裕史  
電 話 052-931-1881

## 株式会社青雲クラウンとの株式交換契約締結に関するお知らせ

当社と株式会社青雲クラウン（以下「青雲クラウン」といいます。）は、平成24年12月21日を効力の発生日として、当社を完全親会社、青雲クラウンを完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を実施することを決定し、本日、両社間で株式交換契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式交換による完全子会社化の目的

当社は、100%子会社である株式会社アイオーテクノ（以下「アイオーテクノ」といいます。）で開発・生産されたリサイクルトナー（商品名：リパクトナー）やリサイクルリボン（商品名：リパックリボン）などの環境対応商品を、全国 23ヶ所の営業拠点を通じて法人顧客に対して直販しております。また、独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」を開設し、リサイクル商品の他にOAサプライ商品、文具事務用品など幅広いアイテムを取り揃え、お客様にWeb購買の利便性と快適性を提供してまいりました。

一方、青雲クラウンは創業 137 年の歴史を有し、文具事務用品及び事務機器の卸を主な業務としております。永年の信頼関係を基盤に、有力文具店・事務機店との販路は確立されており、またクラウングループの一員として文具事務機関係の仕入先とも良好な関係が構築されております。

当社と青雲クラウンとはこれまで販売提携契約を締結し、「ケイティケイ はっするネット」のロジスティクス戦略を推進する上で、物流面では青雲クラウンの運用する物流システムと連携、また商品の仕入においては青雲クラウンの取引するメーカーとの太いパイプを活かした幅広い調達力を活用するなど、両社の強みを補完し合う協業関係にありました。

このような中、株式交換の手法を用いて両社の経営統合を行うことにより、お客様のニーズに対しより的確でスピーディーにお応えできる体制が構築可能となり、当社が標榜する「トータルビジネスサポート」の実現に向けてさらに前進できるものと判断し本株式交換契約を締結することとなりました。

本株式交換による経営統合により、アイオーテクノによる生産体制と、青雲クラウンによる調達・物流のプラットフォームと、当社によるエンドユーザーへの販売体制を有機的に結びつけることにより企業グループ全体でバリューチェーンの上流から下流までを一気通貫する垂直統合型のビジネスモデルが確立されると共に、アイオーテクノで生産するリサイクル商品の販路拡大についても青雲クラウンとの連携強化を踏まえ将来的には新たな展開が可能であると考えております。

また、今後は両社の物流統合やシステム連携を進めプラットフォームの共有化を図ると共に、全体最適の観点から人材、資産、情報の融合を積極的に図ってまいります。

現在、リサイクルトナーを含めたオフィスサプライ関連の法人需要は、通販型ビジネスモデルだけではカバーしきれないほどニーズの多様化が進んでおりますが、経営統合により企業グループとしての経営資源を最大限に活用することで、そのニーズの多様化に対してもさらに積極的なアプローチが可能になると考えております。

今後、グループの総合力を結集し顧客サービスに努め、企業グループの価値の最大化を目指してまいります。

## 2. 株式交換の要旨

### (1) 株式交換の日程

株式交換決議取締役会	(両社)	平成24年8月2日
株式交換契約締結	(両社)	平成24年8月2日
株式交換承認時株主総会	(当社)	平成24年11月13日(予定)
株式交換承認臨時株主総会	(青雲クラウン)	平成24年11月13日(予定)
株式交換の予定日(効力発生日)		平成24年12月21日(予定)

### (2) 株式交換に係る割当ての内容

会社名	当社 (株式交換完全親会社)	青雲クラウン (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当ての内容	1	1
株式交換により発行する新株式数	普通株式：2,200,000株	

(注) 青雲クラウン株式1株に対して、当社株式1株を割当て交付いたします。

### (3) 株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

#### ①算定の基礎

本株式交換の株式交換比率の公正性を確保するため、当社は、独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、当社は、東海東京証券株式会社(以下「東海東京証券」といいます。)を株式交換比率の算定に関する第三者算定機関として選定いたしました。

当社は、本株式交換に関する株式交換契約書締結承認の取締役会に先立ち、下記の算定結果を内容とする報告書を東海東京証券より受領しております。

東海東京証券は、上場会社である当社株式については、市場株価が存在することから市場株価法による算定を行うと同時に、両社について比較可能な類似上場会社が複数存在し、類似上場会社との比較による株式価値の類推が可能であることから類似公開会社比較法を、加えて将来の事業活動の状況を反映させるため、DCF(ディスカунテッド・キャッシュ・フロー)法による算定を行いました。なお、DCF法による算定にあたり前提とした事業計画は、大幅な増減益を見込んでおりません。東海東京証券による算定結果の概要は、以下のとおりです。

	当社	青雲クラウン	株式交換比率
	市場株価法	類似公開会社比較法	0.60~1.29
	類似公開会社比較法	類似公開会社比較法	0.46~0.98
	DCF法	DCF法	1.12~1.54

市場株価法については、最近における当社株式の市場取引状況を勘案の上、平成24年6月14日を算定基準日として、算定基準日の株価終値、基準日から遡る1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の株価終値平均を採用いたしました。

東海東京証券は、株式交換比率の算定に際して、各当事者から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っていません。また、各当事者とその関係会社の資産及び負債（偶発債務を含む。）について、個別の各資産及び各負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関への鑑定又は査定の依頼も行っておりません。加えて、各当事者の財務予測に関する情報については、各当事者の経営陣により現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。東海東京証券の株式交換比率の算定は、平成24年6月14日現在までの情報と経済状況を前提としたものであります。

### ②算定の経緯

当社は、東海東京証券による株式交換比率の算定結果を参考に、それぞれ両社の財務状況、資産の状況、財務予測等の将来見通しを踏まえて、両社で慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記の株式交換比率が妥当であるとの判断に至り合意いたしました。なお、この株式交換比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両社間の協議により変更することがあります。

### ③算定機関との関係

当社のフィナンシャル・アドバイザー（算定機関）である東海東京証券は、当社及び青雲クラウンの関連当事者には該当せず、本株式交換に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

- (4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取り扱い  
該当事項はありません。

## 3. 株式交換当事会社の概要

(1) 商号	ケイティケイ株式会社	株式会社青雲クラウン
(2) 事業内容	リパクトナー、リパックリボン等のリサイクル商品の販売 印字装置を中心としたOA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット、カタログによる通信販売を利用した商品等の販売 ④インターネットを中心としたネットワーク関連商品の開発販売	文具事務用品、オフィス家具、OA機器の販売 「オフィス購買システム」の提案、販売
(3) 設立年月日	昭和46年6月29日	昭和22年12月19日
(4) 本店所在地	名古屋市東区泉二丁目3番3号	名古屋市中区丸の内三丁目13番27号

(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 伊藤 主計	代表取締役社長 青山 英生																																										
(6) 資本金の額	294百万円	68百万円																																										
(7) 発行済株式数	3,675,000株	2,200,000株 (注)																																										
(8) 従業員数	244名 (連結) (平成24年5月20日現在)	97名 (単体) (平成24年6月20日現在)																																										
(9) 事業年度の末日	8月20日	6月20日																																										
(10) 主要取引先	TCエージェンシー株式会社、株式会社富士通マーケティング・オフィスサービス、三菱電機トレーディング株式会社、ザ・パック株式会社、株式会社セイノー商事	株式会社栗田商会、株式会社篠田商会、株式会社丸天産業、カシオ計算機株式会社、株式会社キングジム、マックス株式会社、住友スリーエス株式会社、シヤチハタ株式会社																																										
(11) 大株主及び持株比率	<table border="0"> <tr><td>加藤 道明</td><td>23.68%</td></tr> <tr><td>名古屋中小企業投資育成株式会社</td><td>10.88%</td></tr> <tr><td>伊藤 主計</td><td>5.70%</td></tr> <tr><td>村木 文恵</td><td>2.94%</td></tr> <tr><td>加藤 進策</td><td>2.84%</td></tr> <tr><td>厚東 和寿</td><td>2.72%</td></tr> <tr><td>株式会社三菱東京UFJ銀行</td><td>2.18%</td></tr> <tr><td>株式会社中京銀行</td><td>2.04%</td></tr> <tr><td>明治安田生命保険相互会社</td><td>1.63%</td></tr> <tr><td>荒木 一功</td><td>1.53%</td></tr> </table> (平成23年11月20日現在)	加藤 道明	23.68%	名古屋中小企業投資育成株式会社	10.88%	伊藤 主計	5.70%	村木 文恵	2.94%	加藤 進策	2.84%	厚東 和寿	2.72%	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.18%	株式会社中京銀行	2.04%	明治安田生命保険相互会社	1.63%	荒木 一功	1.53%	<table border="0"> <tr><td>青山 英生</td><td>33.18%</td></tr> <tr><td>青雲堂株式会社</td><td>20.00%</td></tr> <tr><td>川島 和之</td><td>10.41%</td></tr> <tr><td>青山 正幸</td><td>8.27%</td></tr> <tr><td>青山 知広</td><td>7.27%</td></tr> <tr><td>青山 深雪</td><td>5.18%</td></tr> <tr><td>青山 智子</td><td>4.82%</td></tr> <tr><td>橋本 佳世</td><td>3.64%</td></tr> <tr><td>株式会社東京クラウン</td><td>1.82%</td></tr> <tr><td>株式会社新九州クラウン</td><td>1.82%</td></tr> <tr><td>株式会社北海道クラウン</td><td>1.82%</td></tr> </table> (平成24年6月20日現在)	青山 英生	33.18%	青雲堂株式会社	20.00%	川島 和之	10.41%	青山 正幸	8.27%	青山 知広	7.27%	青山 深雪	5.18%	青山 智子	4.82%	橋本 佳世	3.64%	株式会社東京クラウン	1.82%	株式会社新九州クラウン	1.82%	株式会社北海道クラウン	1.82%
加藤 道明	23.68%																																											
名古屋中小企業投資育成株式会社	10.88%																																											
伊藤 主計	5.70%																																											
村木 文恵	2.94%																																											
加藤 進策	2.84%																																											
厚東 和寿	2.72%																																											
株式会社三菱東京UFJ銀行	2.18%																																											
株式会社中京銀行	2.04%																																											
明治安田生命保険相互会社	1.63%																																											
荒木 一功	1.53%																																											
青山 英生	33.18%																																											
青雲堂株式会社	20.00%																																											
川島 和之	10.41%																																											
青山 正幸	8.27%																																											
青山 知広	7.27%																																											
青山 深雪	5.18%																																											
青山 智子	4.82%																																											
橋本 佳世	3.64%																																											
株式会社東京クラウン	1.82%																																											
株式会社新九州クラウン	1.82%																																											
株式会社北海道クラウン	1.82%																																											
(12) 主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社中京銀行、株式会社愛知銀行、株式会社大垣共立銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社百五銀行、株式会社清水銀行																																										
(13) 当事会社間の関係等	資本関係	青雲クラウンは、ケイティケイの普通株式11,000株(0.30%)を保有しております。(平成23年11月20日現在)																																										
	人的関係	青雲クラウンの代表取締役社長である青山 英生はケイティケイの社外取締役を兼務しております。																																										
	取引関係	ケイティケイと青雲クラウンの間で販売提携契約を締結しており、売買取引の実績があります。																																										
	関連当事者への該当状況	当社の社外取締役である青山英生及び近親者は青雲クラウンの議決権の過半数を所有しているため、青雲クラウンは関連当事者に該当いたします。																																										

(注) 青雲クラウンは、平成23年9月29日を基準日として株主の所有する株式1株を2株とする株式分割を実施しております。

## (14) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

	当社 (完全親会社) (連結)			青雲クラウン (完全子会社) (個別)		
	平成21年 5月期	平成22年 5月期	平成23年 5月期	平成21年 6月期	平成22年 6月期	平成23年 6月期
純 資 産	2,050	2,098	2,064	384	405	485
総 資 産	4,521	4,289	4,250	3,637	3,689	3,441
売 上 高	9,519	8,983	8,692	8,125	8,203	8,322
営 業 利 益	121	184	49	87	160	170
経 常 利 益	115	173	44	45	141	152
当 期 純 利 益	58	94	18	8	26	16
1株当たり当期純利益(円)	16.18	26.08	5.17	9.85	29.13	18.46
1株当たり配当金(円)	14.00	14.00	14.00	5.00	5.00	5.00
1株当たり純資産(円)	563.72	576.97	567.63	426.01	450.07	441.05

(注) 青雲クラウンは、連結決算を行っていないことから個別業績のみを記載しております。

## 4. 株式交換後の状況

(1) 商 号	ケイティケイ株式会社
(2) 事 業 内 容	①リパクトナー、リパックリボン等のリサイクル商品の販売 ②印字装置を中心としたOA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 ③インターネット、カタログによる通信販売を利用した商品等の販売 ④インターネットを中心としたネットワーク関連商品の開発、販売
(3) 本 店 所 在 地	名古屋市東区泉二丁目3番3号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 伊藤 主計
(5) 資 本 金 の 額	294百万円
(6) 総 資 産	未定(現時点では確定していません)
(7) 純 資 産	未定(現時点では確定していません)
(8) 事 業 年 度 の 末 日	8月20日

## (9) 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当するためパーチェス法を適用することが見込まれておりますが、当社の業績に与える影響については現時点では算定中です。

## (10) 今後の見通し

子会社化後の業績見通しにつきましては、現在精査中であり、今後業績に影響を与えると判断した場合は、速やかに適時開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想 (平成24年 6 月26日公表分)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成24年 8 月期)	百万円 10,479	百万円 20	百万円 12	百万円 1

(注) 当期は決算期の変更 (5 月 20 日を 8 月 20 日) に伴い、平成 23 年 5 月 21 日～平成 24 年 8 月 20 日までの 15 ヶ月の変則決算となります。

当期業績予想につきましては平成 23 年 5 月 21 日～平成 24 年 8 月 20 日までの 15 ヶ月の業績予想としておりますので、前期実績は記載していません。

以 上